

## 令和3年度学校経営計画表

### 1 学校の現況

学校番号	29	学校名	茨城県立笠間高等学校					課程	全日制			学校長名	小室 浩之				
教頭名	町井 秀保										事務長名	道口 満					
教職員数	教諭	38	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	21	実習教諭, 実習講師, 実習助手		1	事務職員	3	技術職員等	4	計	74
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数					
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
	普通科	53	41	67	38	59	54			179	133	9					
	美術科	6	22	4	23	4	24			14	69	3					
	メディア芸術科	9	21	9	19	9	17			27	57	3					

### 2 目指す学校像「伝統の継承とさらなる躍進」

- あいさつや礼儀を尊び、誠実な人間を育てる学校
- 常に勤勉な態度を養い、職業人として必要な学力を育てる学校
- 自主自律の精神を育み、一人一人の進路希望を実現する学校
- 普通科、美術科・メディア芸術科が切磋琢磨し、教育の質を高められる学校

### 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間が確保され、授業の規律は概ね保たれている。</li> <li>・中学校段階までの基礎学力の定着が不十分な生徒や、特別な支援を必要とする生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着を図るための指導方法の工夫改善</li> <li>・家庭学習の習慣化による学習習慣の確立</li> <li>・特別な支援を必要とする生徒への支援体制の充実</li> <li>・生徒に進路目標を明確化させることによる学習意欲の向上</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職希望者の98%が就職を決定した。</li> <li>・進学希望者の99%が進学を決定した。</li> <li>・国公立大学3名を含む26名が大学に合格した。</li> <li>・進学が59%、就職が34%と進学者が増加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見通した体系的キャリア教育計画の充実</li> <li>・進路実現に向け、主体的に取り組み、努力することができる生徒の育成</li> <li>・一般入試にも対応できる学習指導體制の確立</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装頭髪指導の徹底により、身だしなみの乱れは少なく、落ち着いた学校生活が送れている。</li> <li>・校外で軽い気持ちで法を犯す生徒が増加した。</li> <li>・カウンセリングや特別支援計画の必要な生徒が増加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員、保護者及び外部機関等との密な連携による予防的生徒指導の充実</li> <li>・生徒や保護者との話し合いながらのルール作り。</li> <li>・生徒面接やスクール・カウンセラー及びスクール・ソーシャル・ワーカーの活用による教育相談の充実と、特別支援教育関係の研修の充実</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生は夏休みまで全員参加を行っているが、その後の部活動の定着率があまり高くない。</li> <li>・「笠高キッズ」「笠高浪漫」などの地域連携行事や笠間駅周辺の清掃ボランティア活動等に参加する生徒が増えてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動運営方針に則った部活動の効果的な活動と定着率の向上</li> <li>・キャリア・パスポートを活用した自己理解・自己管理能力の育成</li> <li>・地域連携行事における生徒の関わり方の拡充と支援体制の充実</li> </ul>

#### 4 中期的目標

- ① 学習指導の工夫や生徒指導の充実を通して、基礎学力と基本的生活習慣を確実に身に付けさせる。
- ② 「チャレンジ・プロジェクト」における取組を通して、人間として必要な教養を身に付けさせるとともに、生徒一人一人の能力を引き出して活力ある学校づくりを進めていく。
- ③ 体系的キャリア教育のグランドデザインを明確化することにより、3年間を見通した進路設計が可能となり、生徒の自己実現に必要な力を育てていく。
- ④ 主体的な活動を通して、自分自身の生きていく自信や誇りとなる「笠高プライド」を見付け、育ませる。
- ⑤ 地域と学校の連携・協働や家庭との連携強化により、学校内外を通じた生徒の生活の充実や活性化を図るとともに、積極的な広報活動を展開する。
- ⑥ 地域との連携を大切にし、地域から信頼される開かれた学校を目指す。

#### 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
基礎学力の定着及び学力の向上に向けた取組の充実と、特別な支援を必要とする生徒への支援体制の整備	<ol style="list-style-type: none"> <li>① アクティブ・ラーニングを中心とした授業形態の工夫・改善を積極的に行うことにより、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を充実させ、思考力・判断力・表現力の伸長を図る。</li> <li>② 生徒の興味関心を引き寄せる授業やICT（電子黒板等）を活用した授業等、日々研鑽した授業を展開することにより、授業の楽しさを伝え、学習習慣の確立や学力の向上を図る。</li> <li>③ 家庭や関係機関との密な連携や情報の共有化を通して、特別な支援を必要とする生徒に対する学習支援や適切な対応に努める。</li> </ol>
問題行動の未然防止や新たな課題への迅速な対応及び家庭や地域等との連携の強化	<ol style="list-style-type: none"> <li>④ 個に応じたきめ細かな指導を行うとともに教育相談体制の充実を図る。また、学年間、教員間での統一した生徒指導を行うことにより、非行やいじめの未然防止を始め、SNSトラブルやスマホ利用をめぐる問題や課題にも迅速に対応する。</li> <li>⑤ 家庭、地域社会及び関係機関との連携強化を図るとともに、情報共有のもと協力して生徒指導を行う。</li> </ol>
主体的な進路選択と、その実現のための具体的道筋を考え行動する意識と態度の育成	<ol style="list-style-type: none"> <li>⑥ 3年間を見通した体系的進路指導を計画的に実施することで、望ましい勤労観・職業観、進学や就職に対応できる力を育成する。</li> <li>⑦ インターンシップや各種講話、「チャレンジ・プロジェクト」に係る取組等を通して主体性を育み、進路実現のための意識と態度の育成を図る。</li> <li>⑧ 学習段階に応じて生徒の資格取得を推進し、進路実現に向けた指導を行う。1年に1資格、卒業までに3資格取得を目標とする。</li> </ol>
心の教育の推進と特別活動の充実	<ol style="list-style-type: none"> <li>⑨ 奉仕活動、異校種学校との交流、地域連携行事への生徒の主体的参加を支援し、心の教育の充実と生徒の社会性の確立に努める。</li> <li>⑩ 部活動や生徒会活動への主体的、積極的な参加を促し、生徒の活力を引き出すとともに、礼節や規律を重んずる態度を養うことで、豊かな人間性を育む。</li> </ol>
美術科・メディア芸術科の教育活動の充実	<ol style="list-style-type: none"> <li>⑪ 質の高い指導と様々な体験活動を通して、美術や映像メディアに関する技量を伸ばし、美術や映像メディア系大学への進学を実現させる。</li> <li>⑫ 「チャレンジ・プロジェクト」に係る取組を通して、美術科とメディア芸術科の教育内容のさらなる体系化と充実を図る。</li> <li>⑬ 美術科・メディア芸術科に関する教育活動の積極的な広報活動を行う。</li> </ol>
地域からの期待と信頼に応えるための積極的な教育活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>⑭ 様々なメディアを通して、学習指導や生徒指導における実践と成果、生徒の課外活動の様子など、本校の教育活動についての情報発信に努める。</li> <li>⑮ 特色ある学科を有する笠間高校の様子や未来像を、様々な機会をとらえて地域社会に発信することで、魅力ある学校づくりに資する。</li> </ol>
働き方改革の推進	<ol style="list-style-type: none"> <li>⑯ 業務改善と校務の効率化を図り、教育環境の整備と働きやすい職場環境づくりを行う。</li> </ol>